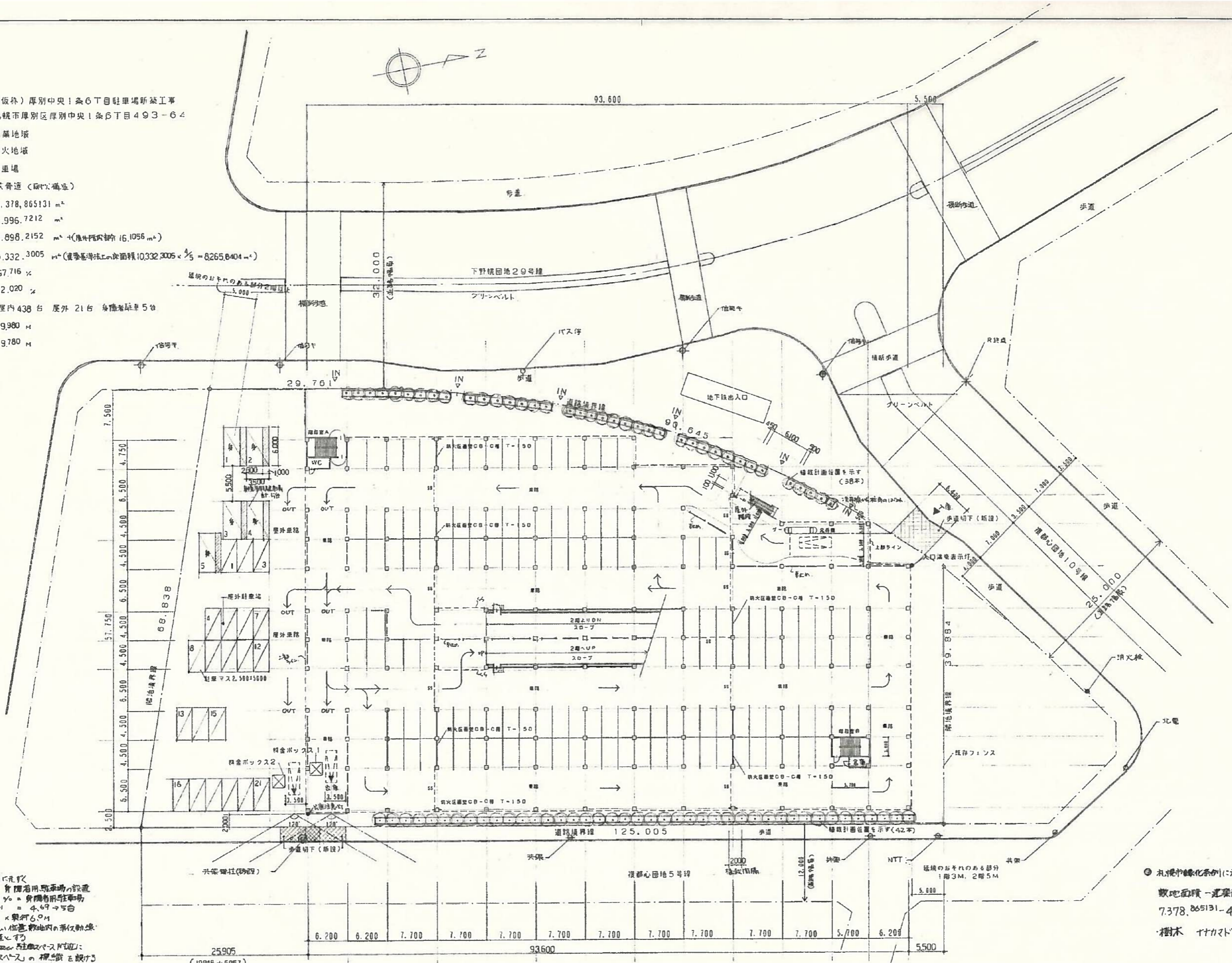


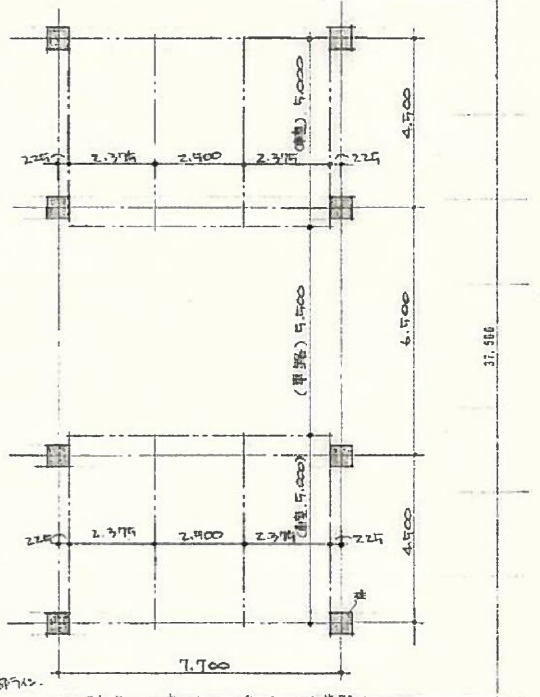
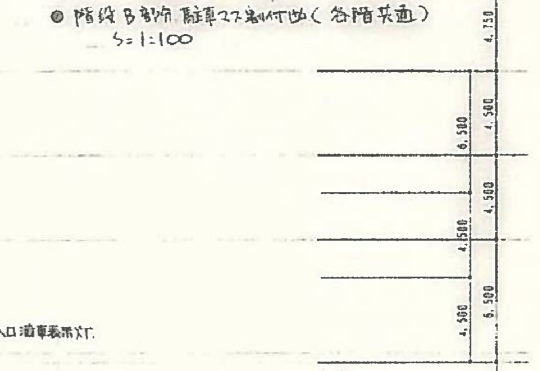
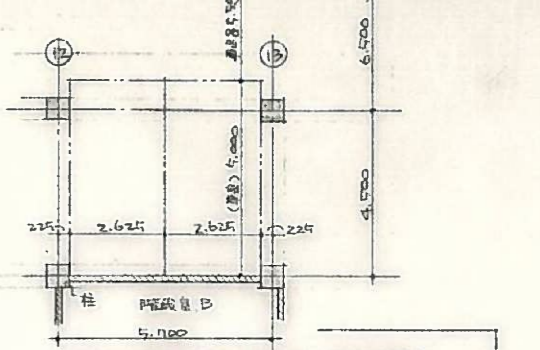
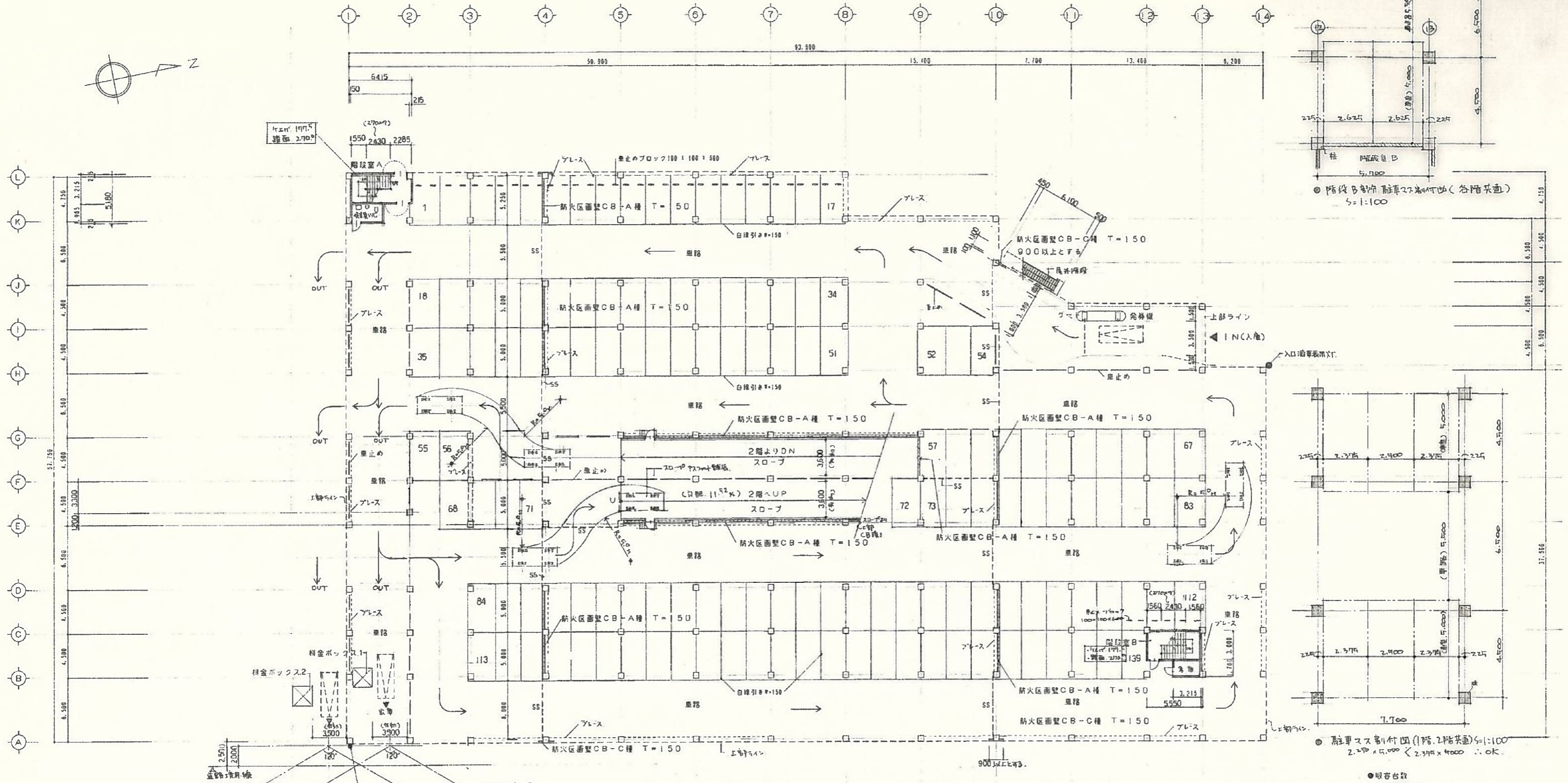
建築概要

工事名称 (仮称) 厚別中央1条6丁目駐車場新築工事
 施工場所 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目493-64
 用途指定 商業地域
 防火指定 防火地域
 用途 駐車場
 構造 鉄骨造(耐火構造)
 敷地面積 7,378,865.131 m²
 建築面積 4,996,721.2 m²
 総床面積 14,898,215.2 m² (床外積算部分 16,105.6 m²)
 延べ床面積 10,332,300.5 m² (建築基準法上の床面積 10,332,300.5 × 1/5 = 826,584.04 m²)
 建ぺい率 67.716 %
 容積率 112.020 %
 駐車台数 屋内438台 屋外21台 総容量459台
 最高の高さ 9.980 m
 最高の軒高 9.780 m



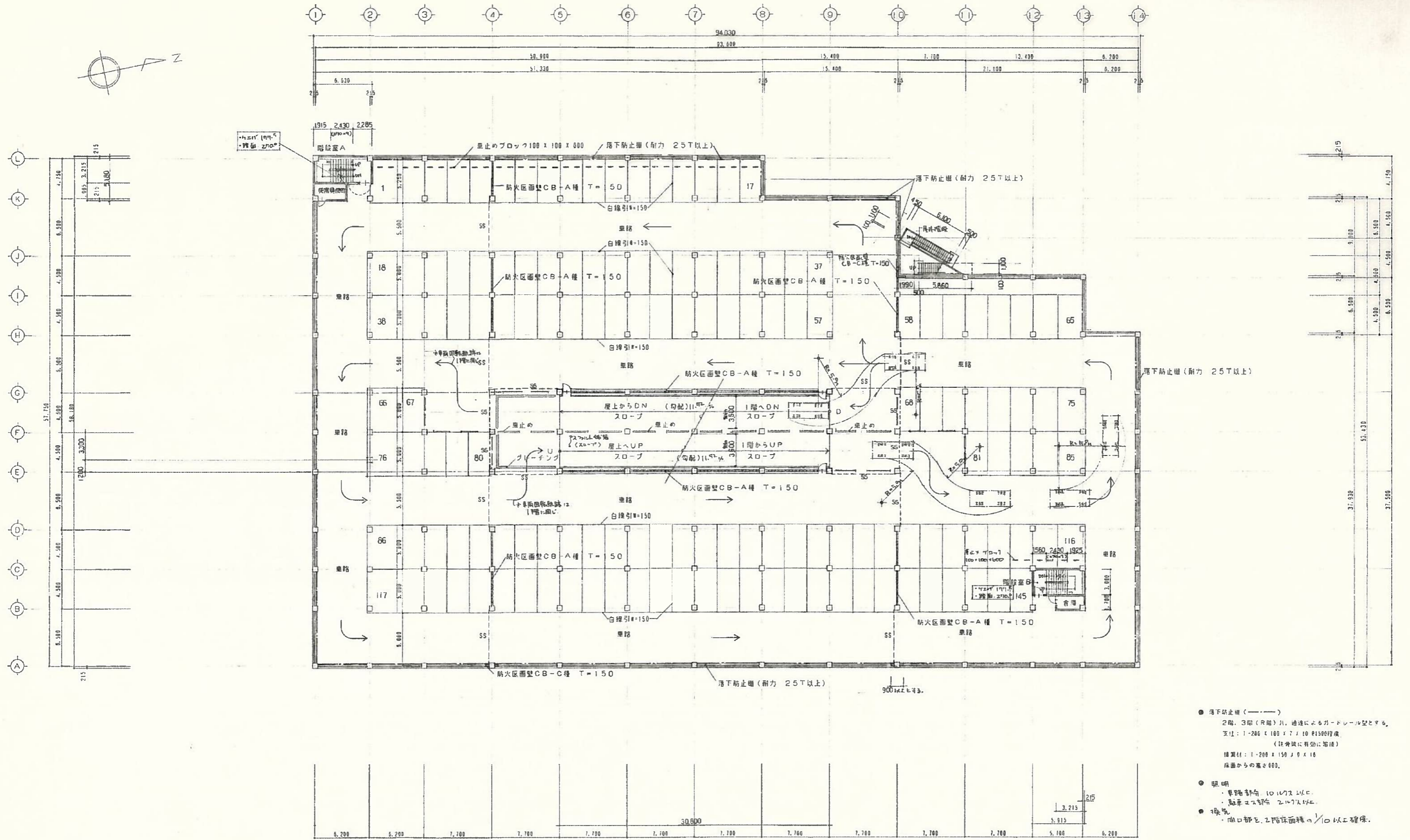
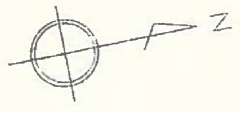
札幌市環境整備協賛に貢献
 貴庁が利用する駐車場の設置
 ・緑台数 × 1% = 貴庁が利用する駐車場の設置
 496台 × 0.01 = 4.97 → 5台
 ・木高 3.5m × 根幹 6.0m
 ・利用施設(近)に植栽敷地の緑化計画
 カサカシ植栽とする
 ・本施設の入口とエレベーター付近に
 「緑化利用駐車スペース」の標識を設ける
 ・植栽に「緑化利用スペース」を設ける

● 札幌市緑化条例に元づく植栽計画
 敷地面積 - 建築面積 × 1/3 × 1/10 = 高木本数
 7,378,865.131 - 4,996,721.2 × 1/3 × 1/10 = 79.4 → 80本
 樹木 11カラマツ H=2.000 80本 @2,000

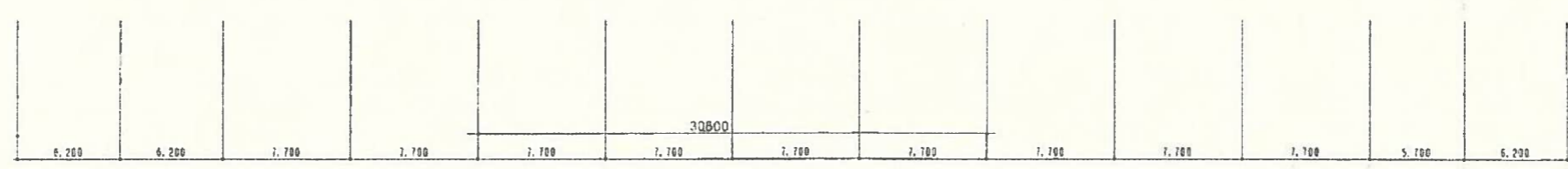
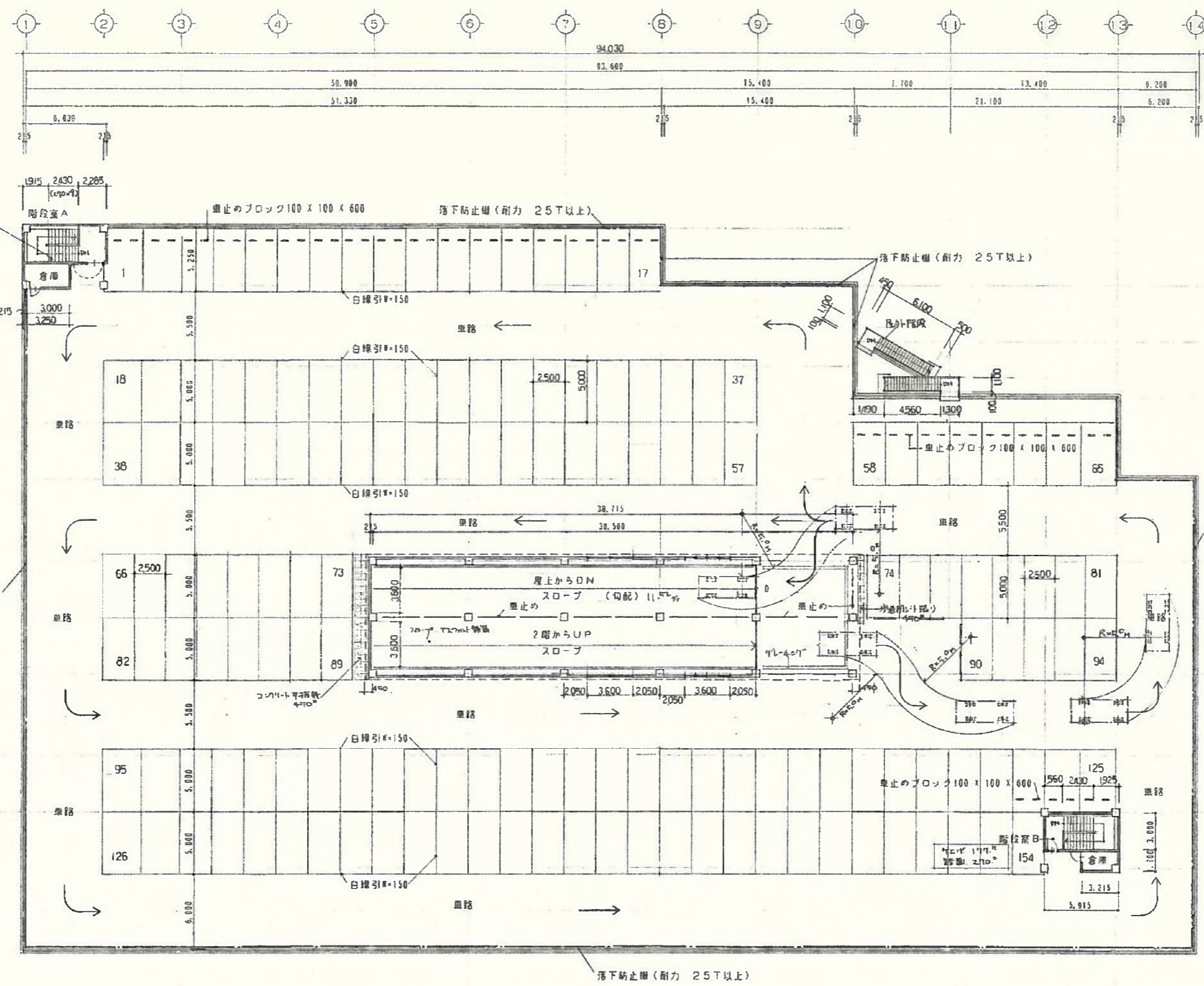
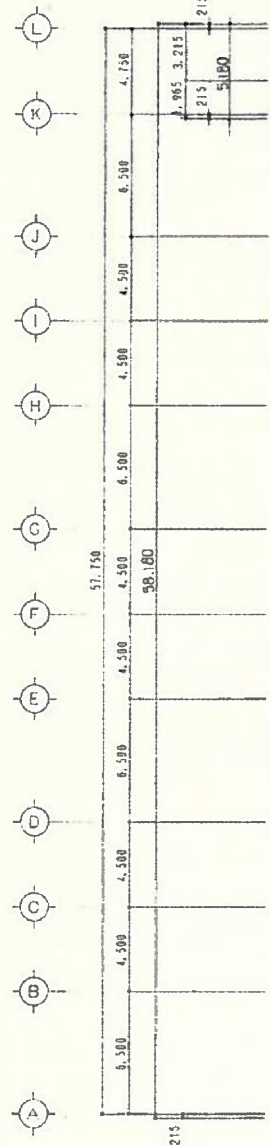


- 凡例
 - 階段室、倉庫、職員WC等 部分は
 - 外壁部分 ... ALC板、T=100 (一般指定 建築基準法 1675号)
 - 内仕部分 ... ALC板、T=75 (一般指定 建築基準法 1675号)
 - 柱等部分 ... ALC板、T=50 (一般指定 建築基準法 129号) 一部階差
- 仕上表
 - 壁: アスファルト塗料
 - 柱: (外周) ALC板 厚50 吹付サイリ
 - (内周) ALC板 厚50 吹付
 - 床: ロ-ア-コンクリート 厚30 (1階自衛用), プレス: アスベスト 厚30
 - 階間床: シンク-コンクリート 厚30
 - 壁: ALC板 厚50 吹付サイリ
 - 天井: フレキシブルボード 厚60 (ビス止め)
 - WC: 床: コンクリート 厚30
 - 壁: フレキシブルボード 厚60 (ビス止め) 吹付サイリ
 - 天井: コンクリート 厚30
 - 壁: 吹付サイリ

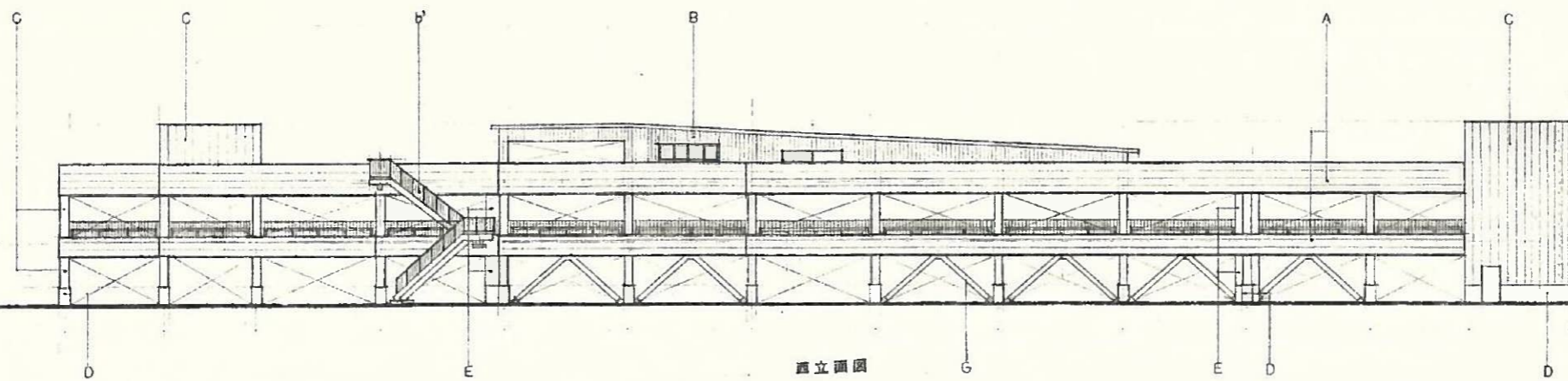
- 収容台数
 - 屋内駐車場
 - 1階 139 台
 - 2階 145 台
 - 3階 (2階) 154 台
 - 計 438 台 (A)
 - 屋外駐車場
 - (一般) 21 台 (B)
 - (非常用) 5 台 (C) } 計26台
 - 総収容台数 (A)+(B)+(C) 464 台
 - 照明器具
 - 数量 1017 x 15 x 15、数量 2 x 10 x 15 x 15 仕様
 - 換気
 - 階の床面積の 1/10 以上の開口部を確保



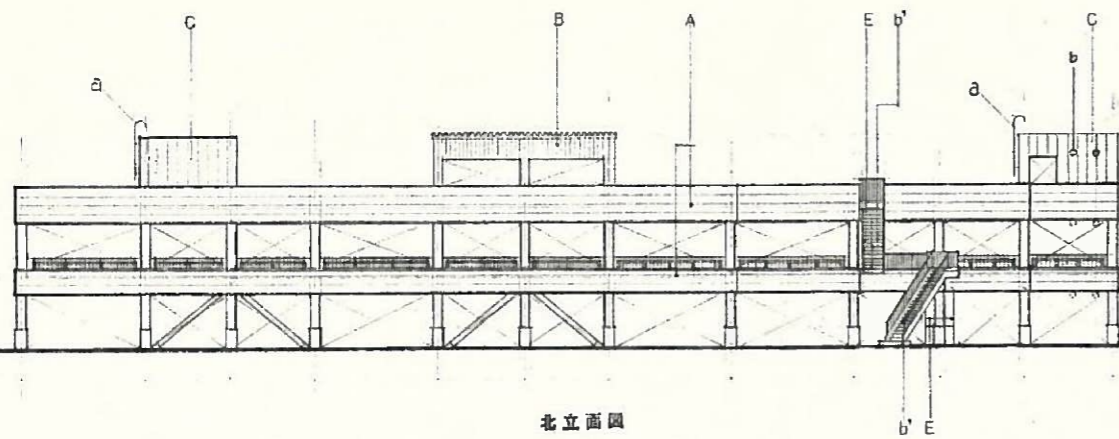
- 落下防止壁 (———)
2階、3階 (R階) 且、通過によるガードレール壁とする。
寸法: 1-200 x 100 x 7 / 10 2150程度
(鉄骨壁に有効に寄接)
構造材: 1-200 x 150 x 9 x 18
床面からの高さ600。
- 照明
・車路部分 10ルクス以上
・駐車スペース 2ルクス以上
- 換気
・開口部を、2階床面積の1/10以上確保。



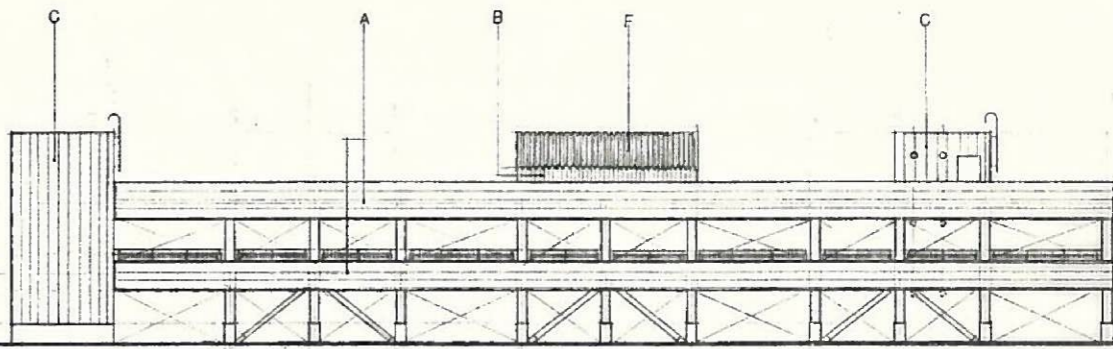
- 落下防止柵 2階以下に(---)
- 車路幅 10m以上に 駐車2.2m以下に確保
- 階上については多期償は使用しよい率とする。
(本構造計算に於いて積載荷重400kg/m²を加算し、積雪荷重を介
を考慮し(1.0倍))



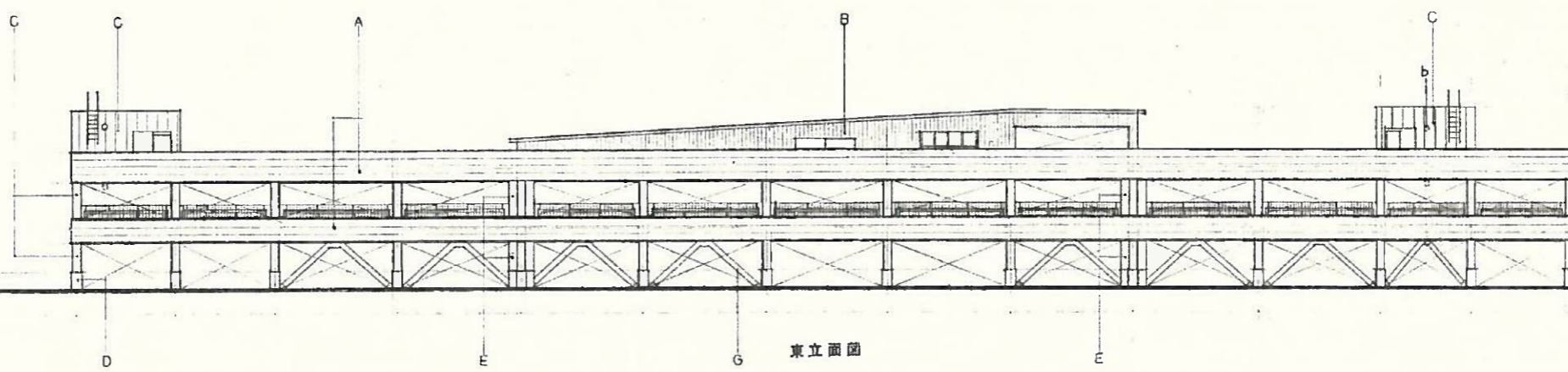
西立面図



北立面図



南立面図



東立面図

A	付与可成り2階 窓枠
B	付与可成り2階 窓枠
C	付与可成り2階 窓枠
D	付与可成り2階 窓枠
E	付与可成り2階 窓枠
F	付与可成り2階 窓枠
G	付与可成り2階 窓枠
a	付与可成り2階 窓枠
b	付与可成り2階 窓枠
b'	付与可成り2階 窓枠

※ 防火区画の区画仕切壁は、防火区画仕切壁に準じて施工すること。

特記事項

1. コンクリート設計基準強度 $F_c = 210 \text{ kgf/cm}^2$

2. 使用鉄筋 SD345 D16以上
SD295A D10・D13

3. 鉄筋配手 重ね配手

4. 使用鋼材 SS400 STKR400
9M490

5. 高力ボルト F10T

6. 設計杭耐力基準 $51.0 \text{ t}/\text{本}$ (500-400φ)

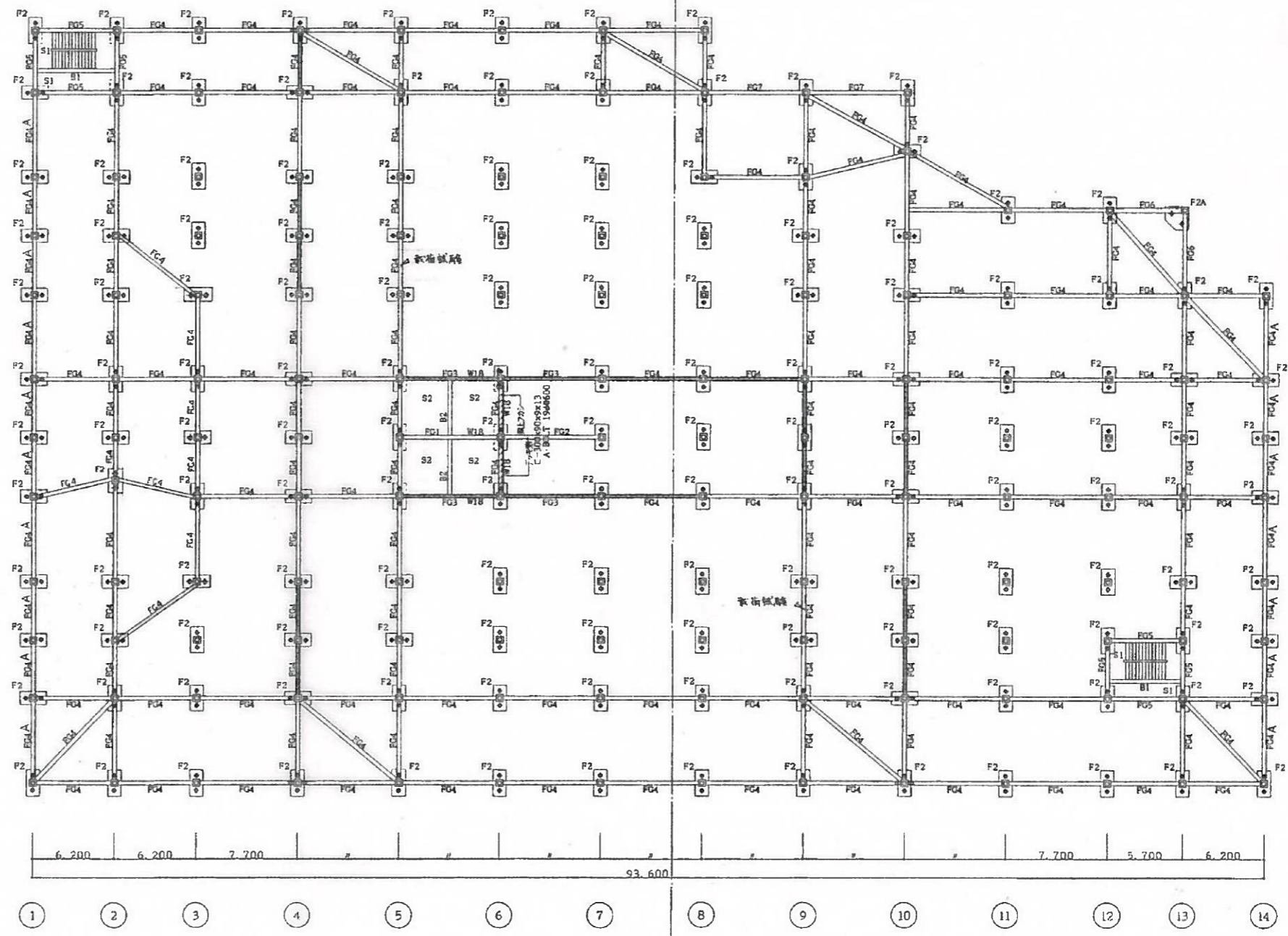
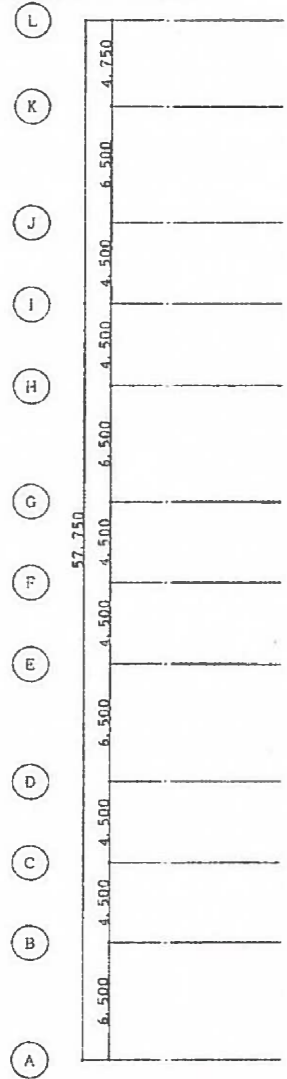
使用状: 掘削機
工法: セメントミルク工法
- 1φ=印=杭径=500=400φ 杭種=B種 杭本数=306本

杭長: B A
1φ=印=0m(7m+7m) 1φ=印=0m
→9→8m 1φ=印=8本

**設計変更により
右表に変更**

設計変更箇所: 2.14R-14L 新設杭種等により 既設杭種との変更がある場合は
設計図書に明示する必要がある。

φ	杭長	杭種	本数
400 ~ 500	14m	A + B	10
	13m	B	137
	9m	(不明)	4
	8m	(不明)	8
300 ~ 440	(不明)	(不明)	111
計			316本



基礎伏図 S1:200

特記事項欄より下記による。

..... 印 量 CB15

..... 基礎底 GL-1.330

..... FG架天 GL-380